

【メルマガ めざせ IT カアップ！ 2018年7月15日号】

みなさん、こんにちは。「メルマガ めざせ IT カアップ！」第10号です。

第1部基本知識編の「Wordの基礎」のテーマは、「ヘッダー・フッター」です。Wordではヘッダー、フッターのどちらも自由に編集ができます。ヘッダーやフッターには、たとえば、「文書名」「作成者」「作成日」「ページ番号」など、文書を整理するための情報を記載しておくのが一般的な使い方です。

第2部のIT用語解説では、「フィンテック」について解説します。ビットコインなどの「仮想通貨」が登場して、「ITを活用した新たな金融サービス」を意味するこの造語が広く使われるようになってきました。日本語では「金融IT」などと呼ばれることもあります。

## 1. 基本知識・便利知識

### 「Wordの基礎」その8 「ヘッダー・フッター」

Wordには、ヘッダー・フッターのいずれにも、予めデザインが標準で用意されていますが、少しくせがあり、ビジネス文書では採用しづらいと思います。ヘッダー・フッターの編集はフォントや文字色などの設定を含め、基本的には本文での文章編集と同じ操作なので、組みこまれたヘッダーデザイン、フッターデザインを利用するよりも、「ヘッダーの編集」「フッターの編集」で始められることをお勧めします。

詳しくは以下のリンク先のページをお読みください。 (注1)

<https://chiba-it-literacy-bukai.jimdofree.com/wordの基礎/ヘッダー-フッター/>

## 2. IT用語解説

### 第4次産業革命シリーズ その10 「フィンテック」

フィンテック (Fintech) は、Finance (金融) と Technology (技術) を組み合わせた造語で、ITを駆使した革新的な金融商品・サービスもしくはその分野の企業のことを言います。

金融商品・サービスは、これまで金融機関がある種独占的に提供し、変化に乏しかったと言えますが、ITを活用することによって、利用者の目線から「安く、早く、便利」に変えていこうとする動きが活発化し、決済・送金・資産運用・ビッグデータ活用などの新サービスが次々と登場しています。

フィンテックの代表格である「仮想通貨」を支える重要な技術のひとつに「ブロックチェーン」があり、取引データの分散管理という従来にはなかった発想のこの仕組みを既存の金融業界でも取り入れる動きが出ています。

続きは、以下のリンク先のページをお読みください。 (注2)

<https://chiba-it-literacy-bukai.jimdofree.com/it用語解説/第4次産業革命/フィンテック/>

いかがでしたか？

次号では、基礎知識として Word の基礎と便利知識その 9「セクション区切り」、IT 用語解説として「シェアリングエコノミー」をお届けする予定です。

(注 1) クリックでリンク先が閲覧できない方は、次の操作を行ってください。

<https://chiba-it-literacy-bukai.jimdofree.com/> でトップページを開く。

サイドメニューから「Word の基礎」をクリックする。

サイドメニューに出現したサブメニューから「ヘッダー・フッター」をクリックする。

(注 2) クリックでリンク先が閲覧できない方は、次の操作を行ってください。

<https://chiba-it-literacy-bukai.jimdofree.com/> でトップページを開く。

トップメニューから「IT 用語解説」をクリックする。

サイドメニューから「第 4 次産業革命」をクリックする。

サイドメニューに出現したサブメニューから「フィンテック」をクリックする。

千葉県地域 IT 化推進協議会 IT リテラシ向上対策部会

※サイト移行の伴い一部修正 (2020/11/05)